



新年明けましておめでとうございます。
 本年も、どうぞよろしく御願ひ申し上げます。

大不況と鉄スクラップ

アメリカのサブプライムローンという金融市場の錬金術の罠にはまり、世界が実需以上に成長したバブルが弾け、百年に一度と言われる位の不景気が世界中を駆け巡っているのは、皆様もご存知の事と思われまふ。その影響は全てにおいてと云う程、どの業種にも影響して、世界のトヨタは営業赤字、上場1部の会社さえも潰れ(ユニクロは不景気で逆に売り上げが伸びたそうですが・・・)当然私達リサイクル業にも大きな津波となって押し寄せたのが7月後半からでした。それから11月にかけて、坂を転げ落ちると言う生易しいものではなく、崖から奈落の底へ突き落とされた状態にあったと思ひます。新聞などで見る折れ線グラフで見ますと、その様が一目瞭然で見取れるのではないのでしょうか。以前から「山高ければ谷深し」との事を書かして頂いていた私ではありますが、それでもここまで価格が下るとは予想はしていませんでした。

なぜなら、中国やインドなどの新興諸国の経済成長国が下支えをしてくるものと思ひていたからです。個人的には、東鉄宇都宮のH2購入価格が2万5千円程度を底値かと思ひていたのですが・・・(それでも暴落と言う言葉は当てはまると思われまふ。)

実際は?と言ひますと、その半値程度まで下っています。

サブプライムローンの影響を受けた後に思つた事は、確かにバブルで仮僞のもとに自動車や建築、その他色々な物を作り続けてきた訳ですが、冷静に世の中を見た場合、本当に世界中の需要はここまで無くなってしまったの?とどうしても疑問符がつくのです。

当然行き過ぎの反動があるのは判りますが、ここまで逆に行き過ぎるのもいかなものかと思ひてしまふ次第です。

一言言わせて頂けるのなら、人の心理は以外にも、もろいものであると(当然私も含めて)感じた次第です。

マスメディアが悪い悪いと言ひ続ければ、当然見ている人の心理は不安になり買い控えをすると思われまふ。逆にもしここで世界中のマスメディアが一斉に世界各国の対応により、景気の底打ちが確認され今後は良くなると流し続ければ、多少の時間はかかりますが、人の心理に安心感が生まれ、景気が良い方向に動くと感じているのですが、いかなもののでしょうか。(私は心理学者ではないので、あくまでも憶測の域の話と思ひてください。)

ただ今回の教訓として、錬金術などと言うものは幻で、次なるその手の詐欺師の誘惑に世界経済が踊らされない事を切に望みまふ。

話はだいたいぶそれてしまひましたが、鉄スクラップはどうなるの?と言う事ですが、直近では、国内は減産の一途で、高炉も炉を止めるまでに至り、先行き3月までは減産の一途をたどると思われまふ。

海外を見てみますと、2年ぶり位に、日本屑の割安感から、中国が買いに動き出している、現在の日本の輸出先の1位に返り咲いています。この価格は国内の価格よりも高めの為、現在の国内の価格を下支えして、相場は安定しています。

ただあまりにも不景気の為、スクラップの発生が異常に悪く、減産傾向の中においても上げの可能性もあるのも否定できない状況にあります。

4月以降は、まるっきり予測できないのが本音です。スクラップがグローバル化している為、その時点での世界の経済が何処まで悪く又は良くなる兆しが見えるかで全然状況が変わってくるからです。

ハッキリしない回答で大変申し訳なく思ふ次第ではありますが、通常な状態では無く、異常事態の中にあると言う事でご容赦の程御願ひします。

至らぬ点は多々あると思ひますが、皆様の声を反映し、より良いサービスへとつなげる為にも、是非お声をお聞かせください。

この様な不安定かつ激動の経済状態ではありますが、弊社は皆様のお越しを社員一同心よりお待ち申し上げます。

コラム

アメリカ初の黒人大統領となるオバマ氏が今月20日に大統領に就任します。就任直後から、世界経済建て直しの為の大事業に取組まなければならない、世界で一番期待される人ではないでしょうか。